

第24回会員協議会を金沢にて開催

第一部 金沢駅西口時計駐車場の見学

第二部 日成ビルド工業株式会社『FRボード』工場見学

第三部 株式会社日本パーツセンター『有孔折板』工場見学

平成27年10月15日(木) 会員企業参加のもと、第24回会員協議会が金沢において開催されました。

1 金沢駅西口時計駐車場の見学

JR金沢駅西口からすぐに見える場所に位置する同駐車場は、地上8階と屋上階からなる8層9段に1,500台が駐車可能な在来工法による大規模自走式駐車場。2004年には日本ベストパーキング賞優秀賞に輝いている。明るく開放的な1階エントランスホールは、東側と南側の二壁面が全てガラス張りの

ため、自然光に溢れ清潔感のある利用者に安心感を与える作り。

管理運営会社の担当者から利用状況の説明を受けた後、まず屋上階へと向かい、上層階から見学をスタート。目を引いたのは駐車車両の多さだ。駅から至近とはいえ、車室の空きスペースは屋上階に十数



1



3



2



4

- ① 屋上も含め、全階がほぼ満車の状態。
- ② 壁2面がガラス張りの明るいエントランスホール。
- ③ 在来工法の駐車場をつぶさに見学する会員。
- ④ これだけ広いスロープを一方通行としている。

台を確認した程度で、7階や8階といった上層階までほぼ満車の状況だった。

スロープや車路がとても広い点も印象深かった。一般的な自走式駐車場のスロープ幅の優に2倍はあろうかというスペースを、惜しげもなく一方通行にしている。また、一般的な螺旋スロープが1周回で1階分を昇降するのに対し、同駐車場は4階分を昇降できるように設計されており、利用者にとってス

トレスの少ない、とても使い勝手のよい印象を受けた。事実、見学中に女性ドライバーの運転する乗用車が上層階まで上がる様子を数回見かけることができた。さらに専用の入口と出口が完全に分離されているため、利用者にとって安心で使い易い、

まさに使う人の立場に立った駐車場といえよう。これぞ在来工法ならではの自走式駐車場であると強く感じた。

2 日成ビルド工業(株)『FRボード』工場見学

続いて、当工業会のメーカー会員である日成ビルド工業(株)の本社(金沢市金石北)に近接する「FRボード」工場を見学した。FRボードとは、表裏2枚の鋼板を成型し、その間に硬質ウレタンフォームを注入・発泡させたサンドイッチ構造の外装材を指し、事務

所・倉庫や自走式駐車場の外壁材としても活用されている建材製品である。訪問した時にはちょうど工場ラインが稼働していて、FRボードが材料から次第に製品に仕上がっていく過程を間近で見学することができた。

3 (株)日本パーツセンター『有孔折板』工場見学

防風・防塵・防雪などの各種フェンス製品等を製造販売する(株)日本パーツセンター様の寺井工場(石川県能美市)を見学。今回見学を希望した製品は、「有孔折板(ゆうこうせっぱん)」という建材の製造現場である。有孔折板とは、主に鉄、ステンレスなどの鋼板にパンチング加工によって数多くの孔(あな)を施し、それを折り曲げて強度を持たせ亜鉛メッキを施した製品のことで、有孔折板はその折り曲げた独特な断面形状により、孔を通過した風が上下相互に干渉し、風向きを変えたり、風の運動エネルギーを失わせたりする能力を持つ。風洞実験等を経て、風や雪の勢いを和らげるこの原理を用いて製品開発し、有孔折板として実用化した。実際に風を和らげる様子がかつてNHKの情報番組でも取り上げられたことがあり、その映像の視聴もできた。

工場内では、一枚の鋼板が色々なパターンの孔の

空いた有孔折板に加工されていく様子を間近で見学できた。有孔折板は主に、高速道路の防風・防雪用の柵として、また建築材料として建造物の外壁や自走式駐車場の外壁材にも活用されている。

今回の会員協議会の目的の一つには、自走式立体駐車場を大臣認定品に限定するのではなく、在来工法も含めて広い視野で捉え、利用者の目線に立った駐車場作りに役立てようという狙いがあった。在来工法による「金沢駅西口時計駐車場」は、正にその目的に合致した見学場所であった。また、駐車場の建築部材でもあるFRボードや有孔折板の製造過程を見学できたことも、意義深い見学体験であった。今後の自走式駐車場の付加価値や可能性を探る糧としていきたい。